

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010260

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	へき地小学校巡回事務職員配置事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	事務職員配置人数					
事業目標	1人					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度	12	教育委員会教育振興課	
			関係課		#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	へき地小学校への事務職員の配置	事務職員配置に係る調査実施	事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置
	事業費(千円)	12,000	0	3,000	3,000	3,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	12,000		3,000	3,000	3,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	0					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		1名	1名	1名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	0%	0%	0%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	へき地小学校巡回事務職員配置事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	へき地小学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	事務職員配置校数
【抱える課題やニーズは】	小規模校における教頭職の未配置等に伴う教職員の少人数化に伴い、学校経営に支障を来たしている状況にある。	指標(指標計算式/解説)	目標年度 目標値 実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	学校事務における教職員の多忙感を解消する。	① 事務職員配置数	平成25年度 1人 1人
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	事務職員(1名)を配置する。		達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	各学校の状況把握	②	目標年度 目標値 実績値
	事務職員の配置決定		平成25年度 #DIV/0!%
	各学校の状況把握	平成26年度からの適正配置を見込み、各学校の現状を把握しています。	
	事務職員の配置決定	公募を行い、教員免許所有者を平成26年4月1日から配置することができています。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	教頭職、事務職員等が未配置となる学校については、校長職をはじめ、教職員に負担が生じることとなり、本来の校務以外の負担の軽減を図るため、町が担う必要があると判断します。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	公募の結果、教員免許所有者の配置に繋がっており、教育行政経験者が確保することができたため、事業を実施するにあたって有効であると判断します。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	平成25年度については、配置予定者の確保となっており、事業費は発生していません。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	結果的に、平成26年度については、各小中学校に事務職員が配置されているため、公平性は確保されていると判断します。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
適正人材の配置が図られており、計画どおり事業が進んでおります。		



継続/現状維持		
現段階においては、平成27年度以降の教職員の配置は未確定であります。今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止